



いん石の中にダイヤモンドがあるって本当なの

1886年、初めてロシアで発見された

1886年ロシアのノボ・ユレイという所に、一つのいん石が落ちました。二人のロシア人の科学者が、このいん石を調べてみると、いん石にダイヤモンドが、ふくまれていることがわかりました。

この科学者は、いん石を酸でとかし、灰色をしたとけ残った物の中に、黒鉛（木炭のなかま）とダイヤモンドを見つけました。その後、このいん石と同じ種類の物が見つかりました。それは、「ユレイライト」という名前です、分類されるようになりました。

ユレイライトは、40個ほど見つっていますが、このほとんどに、ダイヤモンドがふくまれています。また、南極やアメリカのアリゾナに落ちたいん石にも、ダイヤモンドがふくまれている物があります。

いん石は、地球にしょうとつした岩石のかけら

宇宙から地球に落ちてくる岩石などのかけらを、いん石といいます。いん石は火星と木星の間を回っている、小わく星のかけらが飛んできて、地球にしょうとつしたものです。

いん石が地球にしょうとつするときの速さは、1秒間に数十キロメートルという速さです。いん石がこのような速さで、地球にしょうとつする前に、いん石は、地球をとりまいている空気とこすれあって、非常に高い温度になります。

ふつうは、この高い熱によって、いん石が地上にくるまでに、全部燃えつきてしましますが、大きい物は全部燃えつきないで、残った物が地上に落ちてくる場合があります。これが、いん石です。（監修・国司 真）

